

タイトル	ライフスタイル 情報 2.0 これからの教科情報とは		
発表者	(東京) 田園調布雙葉中学高等学校 小林 潤一郎		
<p>【主な発表内容】</p> <p>&lt;参加者&gt;</p> <p>19名</p> <p>&lt;概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リクルートワークス研究所とカリキュラムを共同開発</li> <li>・ ライフスタイルをテーマにした仕事だけではない人生の役割を考える</li> <li>・ 生徒と社会人と協力してアクティビティを通して考えていった授業</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般的にはパソコン＝情報の認識がいまだに根強いので改めて、情報の目的を定義しなおす。</li> <li>・ 社会人と協力して情報リテラシーの実際の状況を生徒に還元することに意義がある。</li> <li>・ 情報モラル系＝セキュリティー、著作権 表現系＝プロジェクト学習、起業教育を重視</li> <li>・ 実社会に根付いた情報教育の実践を行う</li> <li>・ 各企業から教育用企画アイデアをもらい、実際にプロジェクトを企画して参加する。</li> <li>・ 自分のビジョンの育成プロジェクト、自分のライフスタイルを基礎力のまとめから思考、発展へと進め、将来何をするか、そのためには何が必要かを考えさせる。</li> <li>・ ライフスタイルについてワークシート作業を実際に行った。(発表会場内)</li> <li>・ 企業に対して自分の考えていることを実行してみるとよい(積極的なプランを持っていればボランティアでやってくれる)</li> </ul> <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフスタイルのシートの書き方(個人情報の取り扱い) かける範囲でよい。不必要なことはなくてよい</li> <li>・ すべて埋めなければならないか 自分のワースト、ベストを考える時間をもつツールとして捉える</li> <li>・ 情報共有を是非したいので使ってほしい</li> </ul>			
WEB への資料公開許諾	許可	不許可	記録者氏名